

『そこにあるお店』

株式会社かねまつ KANEMATSU ルミネ横浜店

稲川 佳穂

「サイズを履き比べてみたいので、取り置きお願いできますか」そのお客さまとの出会いは、一本の電話でした。

数日後、そのお客様はご来店されました。

電話にてご予約いただいた靴を履き比べ、片方のサイズに決定。

その靴は、《ブラックプレーンのパンプス》お話しを伺うと、再就職用とのこと。

また、時々大阪弁が混ざること気が付き、さらにお客様とお話しをしてみると、旦那さまの転勤に伴い大阪から横浜へ引越しをされ、この秋から転職活動をされるということでした。そのために靴を新調することになり、調べていたところ、大阪時代にも愛用していたかねまつが横浜にあることを知り、ご来店くださったという経緯でした。

ちょうど引越しされたのは、新型コロナウイルスの影響で自粛期間だった4月。

すでに年明けには転居が決まっていたものの、大阪の友人と直接会ってお別れもできず、引越し後もなかなか外出できなかったこともあり、「まだまだ横浜のことはわかりません」と明るいう口調ながらも、どこか寂しさがにじみ出ていました。

私自身、横浜の出身でありながら、特別横浜に詳しい訳ではないものの、なにか少しでもお力になればと、駅のこと・オススメスポットやイベント・穴場のお店を紹介し、気づけばあっというまに時間が過ぎていました。「沢山ありがとう！！久しぶりに旦那以外と話したわ。楽しかった！オススメのお店、ぜひ行ってみます！」そうおっしゃってくださったものの、おそらく年下の私に気を使ってくれたのだろう、長々とオススメを紹介してしまいなんだか申し訳ない気持ちになりながら、その日はお客様を見送りました。

それから数日後……。

「あそこのとんかつ、めっちゃおいしかった」。

その言葉とともに勢いよくお店にいらっしゃったのは、大阪から引越ししてきた“あの”お客様でした。お話を聞けば、私が紹介したパン屋さん・カフェ・洋菓子店・おでん屋・ビール専門店・そしてとんかつ屋まで、さっそく行ってきたとのこと。「他にもオススメないかしら？」と、目を輝かせて仰いました。他のスタッフにも聞きオススメを紹介すると、「行ってみるわ。あと、次はちゃんとお靴買いにきます」と言い残し、帰っていかれました。その言葉と後ろ姿は、前回とは違い、いきいきとされているように見えました。

新型コロナウイルスによって、人と人との関わり方は大きく変わらざるを得ない状況になりました。ただ、お店にいらっしゃるお客様が求めることは多岐にわたるように思えます。変えていかなければならないこと・変えてはならないこと・新たに発生する問題……。我々を取り巻く環境は日々変化していますが、その中でお店が「そこにある」ということが、誰かの為になることもあるのだと改めて実感した出来事でした。

日々の売上も前年に比べると、大変厳しい状況が続いていますが、なんとか今を踏ん張り、5年後・10年後・20年後と、「そこ」にあり続けたいと強く思いました。